

別記一

私は此度味のデパート美松支配人を辞任致しました。私の様な者の進退に當り一々聲明などを発します事は甚だ潜越の沙汰であります。既に過般大新聞全紙の記事となり多数市民各位の絶大な御同情に浴しました。省井、輕々たる挙措は深く懐まねばならぬと覚悟致して居りました。殊に數百名の可憐な女店員並に其の家族達に心配をかかけ其の上警視庁及丸の内警察署まで御立會を願つて決定した私の留任が、僅か數日を出でずに早くも辞任致さねばならぬ。人々に立至りましたに就ては是非とも其理由を明示するの義務がある。存じ、取つて此聲明を致す次第であります。其の理由を申述べます前に、一應余日までの兩者交渉の経過を左に掲げます。

五月四日

常盤生命ビル八階に於て警視庁労働課及丸の内署特高課員御立會の下に店主代表榎本明三氏と私との間に三項目の條件を確認し留任と決す。へ右條件の内容は公表せざる事としました。明不出未だいは遺憾です。加従業員女店員の利益を主眼としをもうてあります。ことば切斷です。

五月五日

美松同系のカラエーメントロホリタ支配人太田氏來店して君が辞任しなけれは事能は格收し難からんとし、私の辞任を從應せうりました。

五月六日

前記太田氏及コジハル支配人金松氏同道來店。若し君が留任すれば一部の調理部員が排斥運動を起すといひ、不徳の形勢が観取されしと、熱心に辞職方を勧説され、更に一歩を進めて辞職の條件を稅務執物に觀せられ、また同夜店主の親友と稱し、カラエー銀座パレスの東主塚井氏來訪され、毎職條件に付き種々諷され。